

# 成城教育

第177号

2017年9月30日

特集 成城学園100周年 ～第二世紀に向けて～



成城学園教育研究所

## 「表紙」のことば

幼稚園 宇田直美

現在年長組の昨年度一学期の活動で、赤、青、黄の三色の絵の具を使って「にじみ絵」をしました。絵の具は「にじみ絵」に適している（シユトックマー社の）物を使い、水で濡らした画用紙に筆を走らせると、じんわりと色がにじんでいきます。紙の上で色が混ざりあい、変化していく様子に子ども達は大喜奮！同じ三色の絵の具を使ったとは思えないほど、一人ひとり違う色の、世界で一枚だけの「にじみ絵」になりました。その「にじみ絵」を「魚」に見立ててハサミで切り、春の運動会の競技で魚釣りをしました。この魚がとても素敵で、「これで終わりにしてしまうのはもったいない！」と、二期に青一色を使い別の画用紙に「にじみ絵」で「海」を表現しました。そして「海」に「魚」を泳がせたところ、子ども達から「魚だけでは寂しくてかわいそう」という声があったので、和紙をちぎり海の中にいる仲間を貼り絵で表現しました。

それぞれの作品について四名の作者に、  
① 作品についての説明。

② 製作するにあたりおもしろかったところや難しかったところ、工夫したところ。

右上の作品に関して、

① 「魚が泳いでいる。いるか（魚の下の緑）は隣の魚を追いかけている。上の二つの赤い物の左はくじら、右はお兄さんの魚」

② 「魚に絵の具を塗ったり赤い紙をギザギザに切ったのがおもしろかった。魚の形を切るときに飛び出さないように気をつけた。魚を追いかけていくくじらの顔を切るのが難しかった。大きい魚はくじらを食べようとしている。こんな魚は初めて見た。」

右下の作品に関して、

① 「魚が泳いで海草（緑色）を見ている。白いのは魚の泡。タコさんも泳いでいる。」

② 「紙に好きな色の絵の具を塗って魚の形に切って作ったところがおもしろかった。足が八本だから、タコを作るのが少し難しかった。魚は海草を食べながら、気持ちよく泳いでいる。」

① 海の中でお魚は獲物を探している。魚の上の青い物は右がウツボで左がジンベエザメで魚をねらっている。」

② 「全部の色を混ぜたらこんな色になってカラフルだなと思った。ウツボの口の切ったところを工夫した。ジンベエザメを作るのが大変だった。しっぽのヒレで獲物たちを追い払う。」

「獲物たちを追い払う」という表現に矛盾があるようですが、子どもなりの表現なのでしょう。

左下の作品について

① 「魚が海をお散歩している。魚はお母さん。赤いのは子ども、緑はワカメ、白いのは人間がくれたお母さんの食べる餌。」

② 「魚や海に色を塗ったり、紙を貼ったのが楽しかった。みんなにお目々をつけたかった。」

実際に行ったことのない海の中を想像しながら話してくれましたが、海草が生えていたり、魚以外の生き物がいたり、どの作品も海の中の様子を楽しく表現しています。

生き生きと泳ぐ海の生き物たちは今にも絵の外に飛び出して来そう、その姿は毎日、子ども達がのびのびと過ごす姿と重ねて感じる事が出来ました。

# 成城教育

第177号

©成城学園教育研究所

◆表紙：幼稚園 年長組 石黒依真 中島秀隆 小池政仁朗 白井利桜里

「表紙」のことは 宇田直美

口絵：グラフィア 成城学園創立一〇〇周年記念式典・祝賀会

## ■特集 成城学園一〇〇周年 第二世紀に向けて

カット 飯田健二

巻頭言 特集「成城学園一〇〇周年 第二世紀に向けて」	清水 大	4
第二世紀の成城教育・成城学園	油井雄二	5
成城学園の目指す人間育成への自讃（あるいは弁明）	戸部順一	10
中学校・高等学校から中学校高等学校へ	石井弘之	13
初等学校一〇〇年プランひと区切り宣言	加藤陸雄	19
第二世紀の成城幼稚園	前田秀和	28
第二世紀プランにおける教育環境整備の概要と現況について	末廣良夫	37
学園英語一貫教育の現在・未来	関 典明	41
いのちを守りあう成城ファミリー・プロジェクト——三年間の活動実績から見えたもの——	島田貴史	47
《大学研究室から》「リネン」と経済史	竹田 泉	50
《ずいひつ》 大学における学習環境の整備——法学資料室の地下拡充移転をとおして——	隈本 守	55
《ずいひつ》 つくることがも展という活動——教員による美術展の記録——	橋本正裕	59



連載コラム

成城人物誌

今井富士雄 その一

青柳恵介 68

注目される成城・喜多見地区 その「みどり」と風景

〱世田谷・みどりのフィールドミュージアム

宮沢栄次 69

教育研究所 研究助成報告書要旨

初等学校におけるグローバル教育の充実と

更なる発展に向けた教育法の開発

桐谷乃宇奈 75

成城学園における「発信力」を育てる教育の試み

〱成城学園版ヒプリオパトルの実現に向けて

島田貴史 77

『成城教育』バックナンバーを読んで

情報を超えて ―陳腐化しないものへ―

山田直巳 80

成城の音楽教育をよく知るための一冊

堤 瑤子 82

成城学園の財産

富塚マリ子 85

連載 〔成城学園の生き物〕第二十七回

ゴキブリ

岡崎真幸 87

教育研究所報

三階に家なし 其九 ―「アクティブ・ラーニング」がわからない―

宮崎修多 93

教育研究所への階段 152

佐藤史章 96

編集後記

98